

道に迷い、獣道を歩く。掴まった枝が折れ、滑落し足首を骨折。携帯電話がつかがり事なきを得た。

至
..
鍋割山

高岩山

920

922

滑落地点
(推測)

ルートは推測



「御岳山に登り、獣道を行って掴まった枝が折れ、4 mほど滑落し足首を骨折。へりの音は聞こえるが見えない。七代ノ滝に行って、別の道を通って汚い展望台に行き、獣道を入ったところです。御岳山のケーブルが右手に見えます。」と遭難者から携帯電話で連絡が入る。

場所の特定が比較的容易にできたため、遭難者の声を頼りに発見され、へりでピックアップし、事なきを得た。（本文参照）

道迷い三大地形は「①下りの尾根分岐、②道が急に曲がる、③ピークからの下り」として私が勝手に位置づけ、注意喚起をしている。この事例も道が直角に曲がっている下り道のパターン。

この地点を遭難者は見落とし、道迷いに至った。「922 mまでの平らな尾根が出たら東側に90度直角に道は曲がる」と事前に予測していれば・・・。

「あれっ。獣道はおかしい。」と思っても、「なんとかなるだろう」と進んでしまう。これが道迷いなのだ。